

令和5年度学校アンケート(学校教育自己診断)の結果について

平素は、本校教育活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。
今年度の学校アンケートについてご報告いたします。今年度の回答率は42.5%でした。
ご協力いただきありがとうございました。昨年度今年度と Google フォームにしたためでしょうが、回答率は昨年度からは23ポイント、一昨年度からは45ポイントも低くなり、大変憂慮しているところです。より良い学校運営のために、今後も保護者の貴重なお声を活かしていきたいと考えています。積極的なご回答をぜひともよろしくお願いいたします。

用語解説

肯定的割合・・・「そう思う1」と「そう思う2」の回答を合わせた割合。

評価・・・・・・・・学校独自に下記のように設定しました。

A:95.0%以上 B:94.9~90.0% C:89.9~85.0% D:84.9%以下

昨年比・・・・・・・・評価のABCDの変化を表しました。

まずは、保護者・児童共通の質問から見てまいります。(下記%は肯定的割合を示します)

【共通質問 高学年】	児童(高)		評価	昨年比		保護者(高)		評価	昨年比
	R4	R5				R4	R5		
1.子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	89.4	88.4	C		1	86.6	83.7	D	▼
2.落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている。	76.5	72.1	D		2	80.0	74.3	D	
3.授業はわかりやすい。	92.3	95.4	A	△	3	86.1	85.5	C	
4.思いやりをもてる教育を行っている。	97.7	95.8	A		4	88.4	87.7	C	
5.子どもの話をよく聞いてくれている。	92.2	93.5	B		5	86.1	89.7	C	
6.社会のルールを守る態度を育てている。	99.0	97.2	A		6	91.5	87.8	C	▼
7.ICT機器を使った授業を行っている。	95.7	94.4	B	▼	7	96.4	96.9	A	
8.意見や考えを發表している。	86.6	88.8	C		8	93.9	92.7	B	
9.毎朝、朝ごはんを食べている。	97.3	98.1	A		9	98.2	97.0	A	
10.子どもは家で自分で計画を立てて勉強している。※	66.5	91.6	A	△	10	54.0	53.1	D	
11.自分から挨拶をしている。	86.4	84.1	D	▼	11	83.7	80.6	D	
※3~6年生への質問									

児童項目の良くなった点は、以前から課題として力を入れている項目3「授業はわかりやすい」です。前年よりポイントが伸び、A ランクになりました。

本校は、児童が主体的、協働的に学ぶ力を育もうとしています。過去4年間取り組んできた「言語活動を通じた授業デザイン」を、今年度あらゆる教科に広げて実践する試みを行っています。

また、項目10「自分で計画を立てて勉強している」が大きく伸びました(3~6年への質問)。オビタイムの漢字学習と宿題を連動させる仕組みによって、児童が自律的に学ぶ力をつけることを狙っています。また、特に高学年では学校と家庭の学習を結ぶ工夫や自主学習の推奨が関係していると思われます。

他方、児童・保護者両方の項目で悪くなっている点は、項目1「学校へ行くのが楽しみ」と、項目2「落ち着いた雰囲気の中で授業」です。これは、低・高学年ともに授業・生活規律の課題が影響しているものと考えます。これらはすでに学校全体の課題と捉え、組織的に対処してるところです。

併せて今年度6年生が取り組んできた「ルールメイキング」と「主権者教育」など前向きな取り組みを引き継いでいきたいと考えています。この活動についての詳細は学校だよりをご参照ください。

2月号 [405657.pdf \(schoolweb.ne.jp\)](https://schoolweb.ne.jp/405657.pdf) | 1月号 [398135.pdf \(schoolweb.ne.jp\)](https://schoolweb.ne.jp/398135.pdf)

【共通質問 低学年】	児童(低)		評価	昨年比		保護者(低)		評価	昨年比
	R4	R5				R4	R5		
1.子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	91.1	89.4	C	▼	1	90.8	92.5	B	
2.落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている。	86.2	80.5	D	▼	2	81.6	83.2	D	
3.授業はわかりやすい。	93.0	93.5	B		3	93.3	93.3	B	
4.思いやりをもてる教育を行っている。	93.7	98.4	A	△	4	92.6	86.6	C	▼
5.子どもの話をよく聞いてくれている。	95.7	99.2	A		5	92.0	90.8	B	
6.社会のルールを守る態度を育てている。	97.5	96.4	A		6	95.7	89.1	C	▼
7.ICT機器を使った授業を行っている。	86.9	89.9	C		7	88.2	91.7	B	△
8.意見や考えを発表している。	84.7	85.8	C	△	8	97.5	96.7	A	
9.毎朝、朝ごはんを食べている。	95.6	96.4	A		9	100.0	99.2	A	
10.自分から挨拶をしている。	84.7	79.6	D		10	68.7	79.1	D	

さて、低学年のアンケート分析で特徴的なことは、児童と保護者でとらえ方のギャップがあることです。学校の評価について、参観や懇談など実際に直接見聞きすることやお子様から聞くことが判断材料になっていると思われます。学校からの情報発信をもさらに留意してまいりたいと思います。

【保護者だけへの質問】	低学年保護者		評価	昨 年 比		高学年保護者		評価	昨 年 比
	R4	R5				R4	R5		
1.学校は、清掃が行き届くよう努力している。	87.1	80.0	D	▼	1	84.3	80.6	D	
2.学校運営は、保護者・地域のニーズを踏まえている。	95.7	85.0	C	▼	2	92.7	85.4	C	▼
3.学校は、参観や懇談会の機会を適切に持っている。	98.2	96.7	A		3	94.6	98.0	A	△
4.学校は、学習内容や学校の様子を適切に伝えている。	96.9	90.8	B	▼	4	97.0	93.9	B	▼
5.先生は、相談に適切に応じてくれる。	93.8	88.3	C	▼	5	88.6	88.7	C	
6.学期末の評価は適切に伝えられわかりやすい。	91.4	96.6	A	△	6	84.3	89.7	C	△
7.学校の方針や教育の重点が明確になっている。	右記は全学年				7	91.4	84.8	D	▼
8.学校は、基礎基本の定着に向けて取り組んでいる。					8	93.3	89.4	C	▼
9.非常変災時に備え、適切に安全教育を行っている。					9	96.9	91.8	B	▼

次に保護者だけの質問ですが、良かった点、項目3「参観等の機会」では、今年度臨時でオビタイム参観を実施しました。項目6「評価の適切さ」では、昨年度から説明様式の改善と懇談時間の延長で、質と量の充実をはかっているところです。

他方、悪かった点は、項目1「清掃の努力」は、トイレの衛生の課題（使い方と清掃）が影響していると考えます。保護者トイレボランティアの皆様等のご助力を得つつ、改善を続けているところです。より良好な環境に近づくよう児童とともに取り組んでまいります。引き続きご家庭のご協力をお願いいたします。今後の改善施策について、詳しくは学校教育自己診断報告（自由記述）をご覧ください。[家庭数 \(city.hirakata.osaka.jp\)](http://city.hirakata.osaka.jp)

項目2「保護者のニーズ」、項目4「学校の様子を適切に伝えている」、項目7「学校の方針」、項目8「基礎基本の徹底」と、学校経営の重要な項目でいずれも低下しております。保護者から大きな期待をいただいているにもかかわらず、学校経営への評価がこの結果にとどまったことについてとても申し訳なく思っています。保護者のご期待に応えられるよう、教育計画に定める経営方針に沿って具体の施策を実行し、成果を出していきたいと考えています。

先の児童・保護者に対するアンケートで、（低・高）項目5「子どもの話をよく聞く」については、一定の評価をいただいている反面、（保護者）項目5「先生は保護者の相談に応じている」のポイントがやや低くなっているのは、担任と保護者のコミュニケーションに課題がある可能性があります。担任はもちろん全教職員が、保護者のお気持ちに寄り添い、ご意向の趣旨を汲み取ることができるよう心がけてまいります。

【児童だけへの質問】	低学年児童		評価	昨年比		高学年児童		評価	昨年比
	R4	R5				R4	R5		
1.授業でわからないことを先生に質問しやすい。	92.3	93.6	B		1	95.7	96.2	A	
2.自分には自慢できるものがある。	86.5	82.7	D	▼	2	84.6	87.9	C	△
3.チャイムで席に着き、教科書やノートを出している。	85.6	85.1	C		3	75.3	73.9	D	
4.学校のきまりを守っている。	91.3	91.9	B		4	94.7	88.4	C	▼
5.国語がよくわかる	91.5	92.7	B		5	93.0	94.4	B	
6.算数がよくわかる	92.1	92.3	B		6	89.7	92.1	B	△

次に児童だけの質問ですが、項目1「授業で先生に質問しやすい」については、教員が児童の多様な考えを尊重し、質問しやすい学級づくりに尽力していることが奏功していると考えられます。教室の心理的安全性は、学力の向上にも大きく影響しますのでさらに努力してまいります。

項目2「自分には自慢できるものがある」は、高学年で上昇、低学年で下降しています。

この項目は、一般的には低学年でポイントが高めに出て、高学年になるに伴い低下する傾向があります。

日々の教育活動において、「できなかった」ことを「できる」ようにする、「できていること、できたこと」をきちんと認める等、児童が「昨日の自分よりも良くなった」と思えるようにすることが大切と考えています。今年度は「五常小マイスター検定」を導入し、児童が自分の成長の指標に加えられるようにしました。今後も丁寧に取り組んでまいります。

結びに、これからも学校は保護者・地域のニーズやご意見を反映する学校経営を心がけるとともに、説明責任を果たしてまいります。

本件に関しまして、五常小ブログ「校長への提言・意見コーナー」等からご感想、ご意見をお寄せ下さるとありがたく存じます。(ID、PWはミルメールでお送りします)